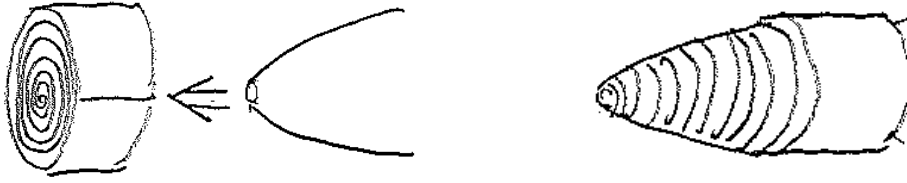
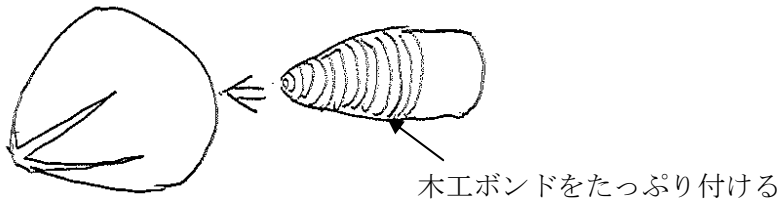


## 機首部の組み立て

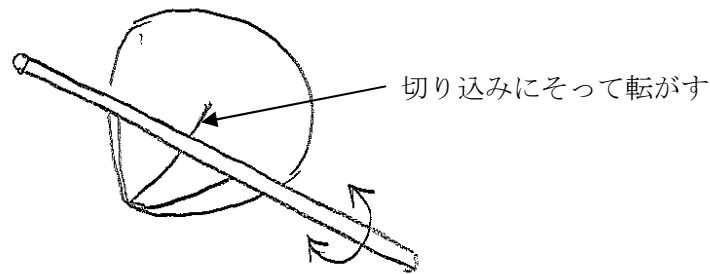
おもり用紙を2枚連結してできるだけ細かく巻き、2色ボールペン等を利用して中心部を押し出します。



機首部に接着剤(木工ボンド)をたっぷり付け、出来上がったおもりを押し込みます。



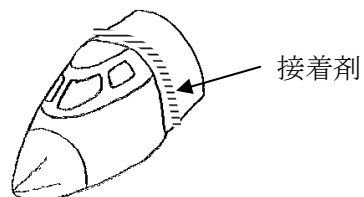
機首部の隙間部分を、タケヒゴ等で転がすように押し付け形を整えます。木工ボンドを使用するのは、木工ボンドは水分があり、紙が伸びやすくなるので、形を整えるのに都合が良いからです。



組み立ては、操縦席窓と天井を最初に接着します。天井を接着すると、操縦席窓は自然と曲線になります。その後、機首から順番に接着します。

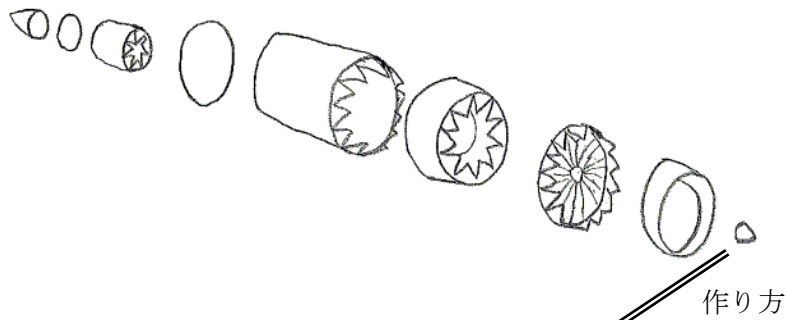


完成した機首部を胴体に接着する時は、接着剤を付けすぎると修正が出来なくなりますので、機首部の根本に少し付けて、位置を合わせて差し込むようにしてください。

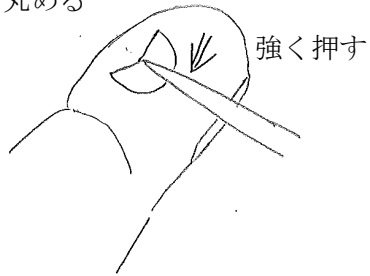


エンジンの組み立て

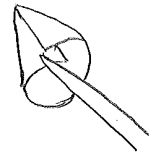
- ・ナセルを組み立てます。



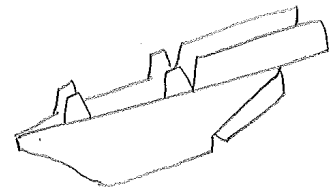
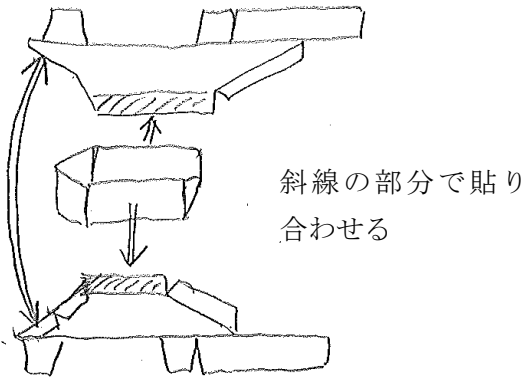
指の上で楊枝等で強く  
押しながら丸める



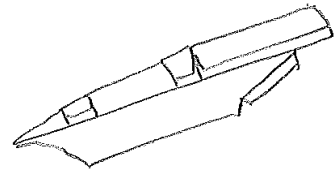
楊枝等を使って形  
を整えて接着する



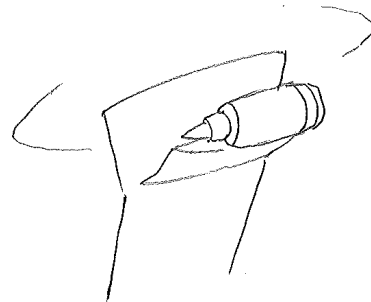
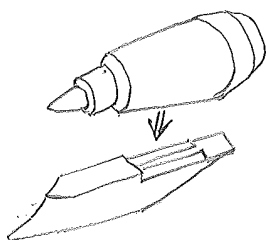
- ・エンジン取り付け部を組み立てます  
エンジン取り付け部は3つの部品から出来ています。



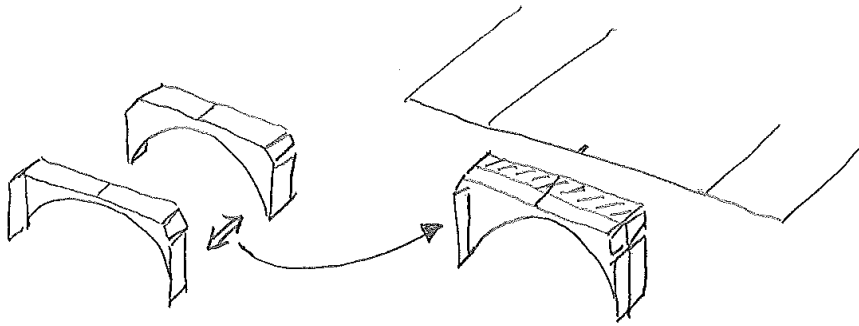
末端部分を貼り合わせたら、上面  
も貼り合わせる



エンジンナセルを取り付け部に接着し、主翼の指定位置（線の描いてあるところ）に接着します。



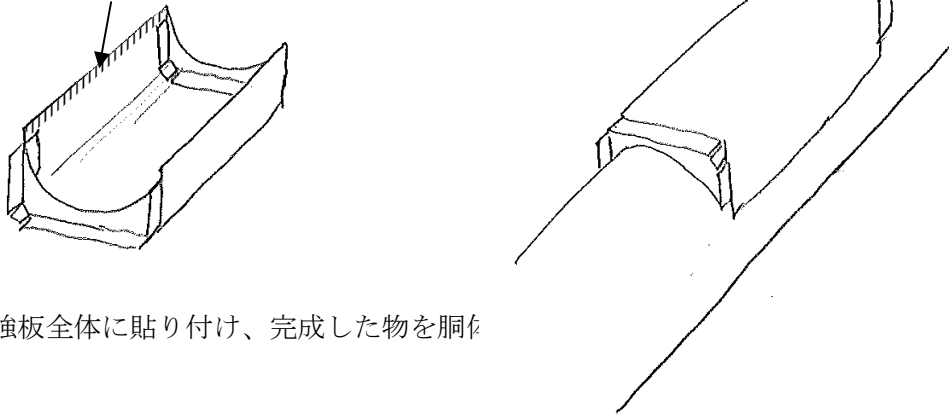
## 主翼取り付け部の組み立て



補強板を貼り合わせ、主翼取り付け部の底板に貼り付けます。このとき、補強板の片方だけに貼り付けます。(斜線部分)

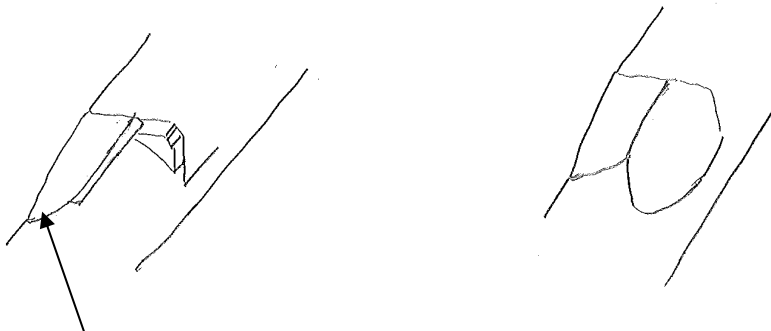
補強板を貼り合わせる時には、センターの印が外側に出るようにすると、底板とズレルことが少なくなります。

胴体接着時に接着剤を付ける部分 (糊しろは無い)

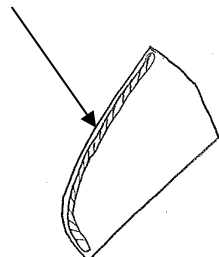


底板を補強板全体に貼り付け、完成した物を胴体

曲線部分を順番に取り付けていきます。

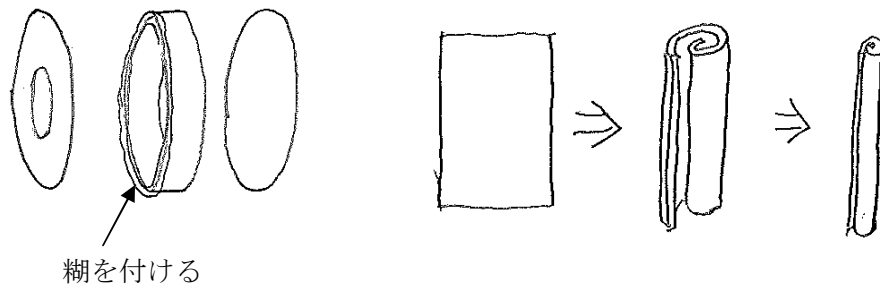


胴体に接着する部分には糊しろが無いので、  
下図のように接着剤を付ける

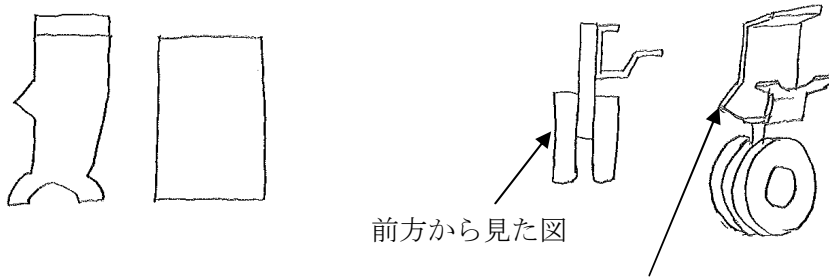


## 車輪の組み立て

タイヤには糊しろが無いので、注意して組み立ててください。脚柱は出来るだけ細くなるように丸め、最後に糊付けします。



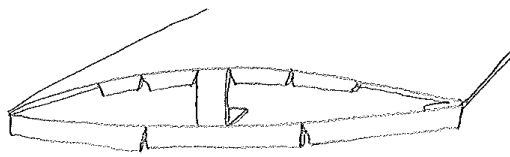
主脚カバーは貼り合わせてからハサミで切り出します。糊しろ部分は重なりません。主脚カバーは複雑な形をしていますので、下図を参考に折り曲げてください。



主翼に接着する時は、とがっている部分がある方を尾部側にする

## 主翼の接着

主翼の下面の糊しろを、下向きになるように折ります。



この部分で、胴体に接着した時に、上半角の調整を行います。

